

広報 ただみ

11
2012 月号

No. 510
平成24年11月10日



今月の表紙

平成24年度 秋季消防検閲式

10月21日に行われた検閲式で、ポンプ車操法の模範演技を披露したのは今年7月に開かれた福島県消防操法南会津地方大会で準優勝した第5分団第3機動班の消防団員。検閲官らが注目するなか、無駄のない俊敏な動作で火点への放水を完了し、拍手が送られた。【関連記事4ページ】

平成23年7月新潟・福島豪雨災害

復旧事業の現状	2~3
平成24年度秋季消防検閲式/只見町駅伝競走大会	4~5
只見町小学校体育交歓会/只見中学校文化祭	6~7
役場庁舎建設に係る住民説明会 他	8~9
町の話	10~11

全力で取り組む只見町



▲小川橋の「橋梁下部工工事」(11月5日撮影)

新潟・福島豪雨にかかると災害復旧の現状は…

11月も半ばを迎え、降雪時期も近くなってきましたが、町は災害復旧事業に最優先で取り組んでおります。このたび、町施設では最大の被害を被った小川橋の上部工が発注の運びとなりました。改めて、現在の災害復旧工事等の取り組み状況と今後の見通しについてお知らせします。

災害復旧工事全般については、3ページに掲載のとおり、一部（林道災害復旧）事業において厳しい状況ではあります

が、住民の方々及び事業者の皆様のご協力により、概ね、災害発生から3年以内での復旧が完了する見通しです。

小川橋上部工の発注

昨年の豪雨災害により、全長136メートルの小川橋の3分の2が落橋し、通行不能となっています。

現在、橋脚部分の改修工事を進めています。上部工（橋桁・道路部分）の工事について、10月30日に開かれた町議会において、提出議案が可決され、工事の発注となりました。下部工とあわせ全体では約3億6千万円の大型工事となります。来年度には完成の予定で、復旧の大きなシンボルとなるでしょう。



只見保養センターの改修

昨年の豪雨災害により甚大な被害を受け、使用不能となっている只見保養センターについては、現在、実施設計作業中であり、平成25年度には竣工の見通しです。

被災した集会施設の整備

豪雨災害により流出や大きな被害を受けた八木沢地区及び津地区の集会施設については、避難所機能を併せ持つ集会施設として整備します。今年度は設計等を行い、平成25年度には竣工するよう取り組んでおります。

豪雨災害記録誌の作成

未曾有の豪雨災害の記録・記憶を将来へ引き継ぐため、豪雨災害の記録誌を作成することとしました。今月から聞き取り調査などを開始しますので、皆様のご協力をお願いします。

役場新庁舎の建設に向けて

防災拠点でもある役場新庁舎の建設については、現在、基本設計業務を全国公募により募集しています。平成25年1月末までに、只見町役場庁舎建設基本計画に定めた5つの基本方針（※）に基づき新庁舎の建設にふさわしい設計業者を選定し、その後、選定された事業者による基本設計に入ることとなります。（プロポーザル方式）

【※5つの基本方針】

- ① 町を活性化する拠点となる庁舎
- ② 町民のリビングとなる庁舎
- ③ 環境にやさしい庁舎
- ④ 安全・安心な庁舎
- ⑤ コンパクトな庁舎

災害復旧工事については、一歩一歩着実に進んできています。引き続き、早期の災害復旧に取り組みながら、安全な地域づくりの実現と活力ある社会経済の再生に向け、町議会とともに、全力で進んでまいります。

豪雨災害からの復旧・復興を目指し

平成23年 7.29新潟・福島豪雨災害 復旧工事進捗状況

【平成24年10月末現在】

区分	箇所数	災害査定事業費	現 状	今後の見通し（予定）
公共土木施設	29	約11.6億円	発注率：事業費ベースで86%	平成25年度完了予定
うち 主な施設		楢戸橋	発注済み	今年度内完了予定
		小川橋	発注済み	平成25年度完了予定
		峯沢橋	今年度内に発注予定	平成25年度完了予定
		五礼橋	工事完了	—
簡易水道施設	12	約1.3億円	発注率：事業費ベースで65%	平成25年度完了予定
農業集落排水施設	12	約1.5億円	発注率：事業費ベースで90%	平成25年度完了予定
町営住宅	29	約0.7億円	工事完了	—
農地災害復旧	42	約2.2億円	発注率：事業費ベースで97%	平成25年度完了予定
農業用施設災害復旧	52	約2.2億円	発注率：事業費ベースで84%	平成25年度完了予定
林道災害復旧	63	約12.6億円	発注率：事業費ベースで23%	平成25年度完了を目途。やむを得ず繰越により26年度完成の場合もあり。

【参考：県事業】

【平成24年10月末現在】

区分	事業費	現 状	今後の見通し（予定）
黒谷川	約33億円	発注率：事業費ベースで44%	平成26年度完了予定
叶津川	約14億円	発注率：事業費ベースで58%	平成25年度完了予定
花立橋	約2.5億円	仮橋で通行中、工事は発注済み	平成25年度完了予定
只見川	約5億円	主に八木沢地区の河川改修工事を行う予定。	平成25年度完了予定
		只見川圏域河川整備計画策定に着手。25年度中に策定完了予定。	

予防消防と訓練の強化・充実に努めていく

平成24年度秋季消防検閲式

秋空のもと町下町民広場を会場に10月21日、秋季消防検閲式が行われ、消防団員160名、婦人消防隊員25名とポンプ車3台、小型動力ポンプ付積載車9台が参加しました。

検閲官の目黒町長による検閲宣言の後、閲団、通常点検、小隊訓練、機械器具点検、ポンプ操法、分列行進などが整然と行われました。

検閲官による訓辞講評では、「指揮行動の機敏なところを確認、総合して良好。今後も予防消防に重点を置き行動され、奉仕的消防精神を堅持され、町民の安全安心のため活動ください」と述べました。



▲検閲官による通常点検

続いて、表彰及び感謝状の贈呈と来賓の方による祝辞がありました。また、受賞者を代表して第5分団第1班の梁取智之さんから「消防精神の士気高揚と消防活動の充実に努力します。これからも、皆様のご指導をお願いします」と謝辞が述べられました。

受賞者は次の方々です。

(敬称略)

【消防団長表彰】

●優良章

鈴木佳憲(只見)、酒井修(樺戸)、三瓶彰治(叶津)、渡部圭(樺戸)、増田浩一(小川)、川端秀樹(二軒在家)

●精績章

長谷部貴一(蒲生)、三瓶晃(寄岩)、横山卓生(樺戸)、横山慎(樺戸)、渡部成男(福井)、目黒克輝(黒谷)、三瓶宏勝(福井)、須佐洋利(黒谷)、船木進(黒谷)、秋岡伸(長浜)、小沼孝典(長浜)、吉津和樹(長浜)、馬場達也(坂田)、酒井文高(坂田)、目黒健太(塩ノ岐)、佐藤義樹(大倉)、山内征久(梁取)、馬場由人(梁取)、山内明(梁取)、三瓶節(長浜)

●功績章

梁取智之(坂田)、角田祐介(坂田)、馬場達也(坂田)、酒井文高(坂田)、目黒大輔(坂田)、酒井智也(坂田)、目黒五生(小

林)、酒井守(小林)、角田誠(小林)、舟木晋太郎(小林)、佐藤雅幸(小林)、川原田史紹(小林)、堀金賢二(小林)

【福島県消防協会表彰】

●功労章

鈴木好行(只見)、鈴木基(只見)、鈴木克英(只見)、鈴木尚(只見)、新國伸一(只見)、鈴木佳憲(只見)、五十嵐健司(只見)

●功績章

鈴木好行(只見)、目黒邦友(只見)、佐藤長次(大倉)

●永年勤続章

新國善記(只見)、渡部浩(只見)、滝沢敏也(蒲生)、三瓶初男(樺戸)、渡部清貴(福井)、星健之(黒谷)、本名高喜(黒谷)、湯田修(布沢)、馬場三次(只見)

●優良青年消防団員章

印南正和(小林)、目黒大四郎(小川)

●親子等消防表彰

梁取克昌(長浜)、梁取麻緒(長浜)、五十嵐貴志(只見)、五十嵐健司(只見)

●功労章

鈴木好行(只見)、鈴木基(只見)、鈴木克英(只見)、鈴木尚(只見)、新國伸一(只見)、鈴木佳憲(只見)、五十嵐健司(只見)

●功績章

菅家和人(只見)

●精勤章

鈴木基(只見)、吉田晃男(叶津)、岩瀨秀一(黒谷)、飯塚幸宣(大倉)、馬場克夫(梁取)

●感謝状

五十嵐一彦(黒谷)、目黒芳美(石伏)、馬場三次(只見)、新國勇(只見)、三瓶俊彦(樺戸)、目黒晃己(黒谷)、梁取守(坂田)

【消防団退職表彰状(銀杯)】

●退職報償

三瓶俊彦(樺戸)、目黒芳美(石伏)、馬場三次(只見)、梁取守(坂田)、五十嵐一彦(黒谷)、目黒大四郎(小川)、新國勇(只見)、目黒晃己(黒谷)、吉田好広(只見)、若林勝博(只見)、馬場祐二(梁取)



▲点検を受ける婦人消防隊



第50回記念大会のスタートを切る選手▲

ときおり陽のさす秋空が広がった10月7日、只見町体育協会などが主催する第50回記念只見町駅伝競走大会が町下の教育委員会前から小林の山里橋折り返しなどのコース（最長37・9km）で開かれました。選手は号砲とともに一斉にスタート。さわやかな秋空のもとで健脚が競われました。沿道では町民の皆さんが声援を送り選手を励ましていました。その声に後押しされ、元気付けられたランナーは、全力で走り抜き、爽快な汗を輝かせタスキをつないでいました。今回エントリーしたのは26チームで、全てのチームがゴールテープを切りました。

成績は次のとおりです。

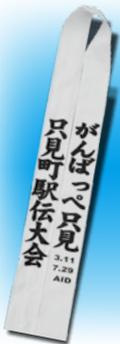
【中学男子の部】
 ①喜多方市立第三中学校
 ②南郷中学校駅伝部
 【中学女子の部】
 ①南郷中学校駅伝部
 ②喜多方市立第三中学校
 【一般女子の部】
 ①うるわし☆レディース
 ②ポカレディス
 【一般男子の部】
 ①喜多方市駅伝チームA
 ②南会津高校スキー部A
 ③明和青年団
 【男女混成の部】
 ①喜多方市駅伝チームC
 ②喜多方市駅伝チームB
 ③南会津高校スキー部B

は特別賞も用意され、その中で第1回大会から今大会まで全て参加されたチームに贈られた連続出場賞を受賞された明和青年団チームの監督で青年団長の佐藤雅幸さんは「この賞を受賞できたのは先輩方皆さんのおかげ。この伝統を守り、これからも続けて参加したい」と決意を言葉に表しました。遠方賞は郡山市から参加された「坪井病院」が受賞しました。

また、昨年にも続き今年も只見ランナーズ及び只見町食生活改善推進員の皆さんのご協力による無料トン汁コーナーが設けられ、準備された約500食が振る舞われました。

第50回の記念大会に 鳴り響いた号砲

只見町
駅伝競走
大会



勝利▲



力走▲



フィニッシュ▲

大人気の「トン汁」コーナー



食生活改善推進員のみなさん▲

自己のベスト記録更新目指し全力出し切る

只見町小学校体育交歓会

穏やかに晴れた秋空のもと、只見町小学校体育交歓会が、10月3日に町下運動広場で開かれ、只見、朝日、明和の小学生116人が陸上競技を行い親睦と交流を深めました。

開会式では、大会会長の齋藤修一教育長が「積み上げてきた練習の成果を出し切って満足はいく結果を残してください」とあいさつを述べ、渡部仁一教育委員長職務代理は「年に1回の大会です。全力で練習の成果を発揮してください」



全力疾走の男子リレー▲

競技終了後の講評で実行委員長の荒川文雄朝日小学校校長は「6年生は中学校でもよいライバルとしてスポーツに学習に励んでください。皆さんは精神力を養いました。これからも普段から体力づくりを行いましょう」と述べました。

どの小学校も、児童と先生が丸となり、真剣に競技に集中し、ともに練習してきた友達の勝利を信じ、熱い応援を送る姿が印象的な思い出に残る大会となりました。

「い」と祝辞を述べました。その後、朝日小学校6年の吉津万尋さんが「練習の成果を発揮し、みんなで励まし合い自己ベストが出せるよう頑張ります」と元氣よく大きな声で選手宣誓をし、競技がスタートしました。

全力を出し切り競技に臨む児童に、詰めかけた保護者や町民の方からは大きな声援が送られていました。

第42回 只見町小学校体育交歓会 入賞記録一覧表

女子100M走				女子80Mハードル				女子800M走				女子4×100Mリレー			
順位	氏名	学年	学校名	記録	氏名	学年	学校名	記録	氏名	学年	学校名	記録	チーム名	記録	
1	目黒 杏里	6	只見	15"8	新國かすみ	6	只見	15"5	鈴木 菜美	6	只見	2'49"8	只見A(鈴木、目黒杏、目黒温、美馬)	1'05"2	
2	渡部 美依	5	朝日	16"4	目黒明日香	6	朝日	16"5	山内 花	6	明和	3'03"0	只見B(目黒、鈴木、新國、大竹)	1'07"0	
3	大竹 里奈	6	只見	16"6	川合 未来	6	只見	16"7	山内 優	5	只見	3'06"2	朝日(吉津、渡部、星、目黒)	1'08"3	
4	目黒 温	6	只見	16"6	角田 真央	6	明和	16"8	美馬 由理	5	只見	3'10"3	明和A(山内、高橋、角田、小林)	1'09"3	
5	目黒 琴乃	6	只見	17"0	鈴木 萌	5	只見	16"8	増田 樹	5	朝日	3'16"7	明和B(菊地、梁取、菅家、会田)	1'13"6	
6	鈴木 凜	6	只見	17"1	新國 愛菜	6	只見	17"6	大竹 涼華	6	只見	3'18"2			
男子100M走				男子80Mハードル				男子1000M走				男子4×100Mリレー			
順位	氏名	学年	学校名	記録	氏名	学年	学校名	記録	氏名	学年	学校名	記録	チーム名	記録	
1	小野 朝陽	6	只見	15"4	菅家 和浩	6	朝日	14"7	吉津 遥	6	朝日	3'31"4	朝日A(横山、吉津、菅家、渡部)	1'01"7	
2	渡部賢太郎	6	朝日	15"4	鈴木凜太郎	5	只見	15"4	大竹 力	5	明和	3'50"9	明和A(五十嵐、飯塚、布沢陽、布沢胤)	1'04"0	
3	五十嵐彪斗	5	明和	15"7	布沢 胤乃	6	明和	15"8	菅家 尚真	5	朝日	3'51"5	只見A(山内、新國、小野、鈴木)	1'04"9	
4	目黒 佳祐	5	朝日	15"7	新國 潤平	6	只見	15"9	齋藤 結	5	朝日	3'58"1	朝日B(五十嵐、菅家、齋藤、目黒)	1'07"5	
5	上野 慎太	6	只見	15"9	布沢 陽斗	5	明和	16"1	山内 開	5	明和	3'58"8	明和B(五十嵐健、五十嵐滉、大竹、山内)	1'09"2	
6	飯塚 優	5	明和	15"9	横山 颯	6	朝日	16"1	五十嵐健斗	6	明和	3'59"2	只見B(五十嵐貴、酒井、新國、五十嵐優)	1'11"4	
女子走り幅跳び				女子走り高跳び				女子ソフトボール投げ							
順位	氏名	学年	学校名	記録	氏名	学年	学校名	記録	氏名	学年	学校名	記録			
1	目黒 杏里	6	只見	384cm	鈴木 菜美	6	只見	122cm	新國かすみ	6	只見	41m65			
2	渡部 美依	5	朝日	333cm	川合 未来	6	只見	110cm	角田 真央	6	明和	37m75			
3	目黒 温	6	只見	312cm	大塚 琴美	6	只見	110cm	新國 愛菜	6	只見	37m14			
4	目黒 琴乃	6	只見	307cm	高橋はるか	5	明和	105cm	大竹 涼華	6	只見	36m70			
5	鈴木 凜	6	只見	303cm	山内 花	6	明和	103cm	星 鈴果	6	朝日	35m75			
6	山内 優	5	只見	297cm	目黒明日香	6	朝日	95cm	菅家 夏芽	5	只見	34m95			
5	関谷恵里香	5	只見												
男子走り幅跳び				男子走り高跳び				男子ソフトボール投げ							
順位	氏名	学年	学校名	記録	氏名	学年	学校名	記録	氏名	学年	学校名	記録			
1	五十嵐健斗	6	明和	347cm	横山 颯	6	朝日	115cm	渡部賢太郎	6	朝日	55m78			
2	大竹 力	5	明和	344cm	吉津 遥	6	朝日	110cm	布沢 胤乃	6	明和	52m77			
3	上野 慎太	6	只見	333cm	小野 朝陽	6	只見	105cm	渡部 倫	5	朝日	47m90			
4	菅家 和浩	6	朝日	325cm	布沢 陽斗	5	明和	105cm	河原田隼斗	5	明和	47m72			
5	飯塚 優	5	明和	322cm	山内 開	5	明和	105cm	新國 潤平	6	只見	44m70			
6	酒井 直央	6	朝日	320cm	目黒 佳祐	5	朝日	105cm	吉津 勇平	6	朝日	41m77			

只見中学校文化祭

美しい歌声が響いた全校合唱



第6回只見中学校文化祭「紅葉祭」は「夢・未来・挑戦」をテーマに10月28日、同校体育館などで行われました。昨年の新潟・福島豪雨災害から只見町は復興に向け多くの方が頑張っているなか、自分たちも今できることを一生懸命やる。自分たちの夢・未来に向かって挑戦を続けることが必要と生徒が考えつけられたテーマです。紅葉祭は、開会行事で幕を開け、英語弁論発表や普段考えていることなどを言葉に表した主張発表、そして合唱コンクールなどが午前中に行われ、学年別合唱から、特設合唱部の発表や全校合唱が披露され、いずれも練習の成果が発揮された透明感のある美しい歌声が響き渡り、訪れた町民の方々を魅了していました。

午後からは、各学年の教室とスペースを利用し総合学習で取り組んだことについて、1年生は会津若松市内自主研修、2年生は会津若松市などでの職場体験学習、3年生は修学旅行で学んだことを、クイズなどを織り交ぜ趣向を凝らし楽しく発表、大勢の保護者や家族、町民の方が集まり、笑い声と同時に大きな拍手を送っていました。その後の生徒会企画ではバンド演奏やダンスが披露され、会場内がひとつになり盛り上がりました。

最後の閉会行事で文化祭実行委員長の島谷拓実さん（3年）は「みんなで一生懸命に準備してきました。今日まで頑張ってきた過程が大事。皆さんの協力があつてできることです。最高の文化祭になりました」とあいさつしました。

実行委員長あいさつのとおり、生徒みんなで力を合わせ、一生懸命頑張ったすばらしい紅葉祭だったと感じました。生徒の皆さんには今回のテーマのとおり夢を抱き、未来に向かって挑戦することを忘れないでほしいと思います。



▲生徒の力作が勢揃い



▲総合学習発表会



▲クイズで楽しく発表



▲生徒会企画「バンド演奏」

建設基本計画の概要などを説明 役場庁舎建設に係る住民説明会

平成26年度に建設工事の着工を予定し、翌年27年度中の完成を目指して現在作業を進めている役場本庁舎の新庁舎建設に係る住民説明会が10月10日と11日、15日に只見・朝日・明和の各地区センターで行われ、町民の方々が出席されました。

はじめに目黒町長が「今

後どのようなプロセスで進んでいくのか説明をします。皆さんに内容をご理解いただいたうえで、ご意見を伺いたいと思います」とあいさつしました。その後、役場庁舎建設基本計画の概要が説明され、新しい庁舎建設の考え方として「町を活性化する拠点」「町民のリビング」「環境に優しい」「安全安心」「コンパクト」ということが盛り込まれた庁舎を建設するといった話がありました。また、今後の進め方につい



▲あいさつする目黒町長

て、設計業者はプロポーザル方式で全国から公募し、3段階で選抜、第3次審査は住民公開で行うことや、設計書の作成は住民の意見や提案を受け行うことなどが説明されました。町民の皆さんが使いやすい庁舎の建設を目指し作業を進めていきますので、ご協力をお願いします。

新ふるさと大使に委嘱状交付 只見町広報員委嘱状交付式

只見町の情報を発信いただき、只見町に役立つ情報を収集・提供いただいたりと、只見町のために様々な活動を行なっていた只見町広報員「ふるさと大使」の皆さん8名が新たに決定し、10月20日に役場本庁で委嘱状交付式が行われ、広報員一人一人に目黒町長から委嘱状が手渡されました。

新広報員の方は「只見町の自然は素晴らしい。人々の温かさ

に感銘を受けた。これからも只見を訪れ、只見の魅力を各地でPRしていきます」などと笑顔で話されました。皆さん、只見町を有名にしてください。お願いします。そして、今まで活動いただいた広報員の皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。

なお、新広報員の皆さんを名簿でご紹介します。

只見町広報員 (ふるさと大使) 名簿

- | | | | | | |
|------|----|-----|----|----------|-------------|
| きた | はら | まさ | ひと | さん | |
| ・北 | 原 | 正 | 仁 | さん | 男性 千葉県柏市 |
| はっ | た | よし | あき | さん | |
| ・八 | 田 | 吉 | 昭 | さん | 男性 神奈川県茅ヶ崎市 |
| はっ | た | み | え | さん | |
| ・八 | 田 | 美 | 江 | さん | 女性 神奈川県茅ヶ崎市 |
| わた | なべ | まもる | 衛 | さん | |
| ・渡 | 部 | 衛 | さん | 男性 千葉県柏市 | |
| やま | もと | しゅう | じ | さん | |
| ・山 | 本 | 修 | 史 | さん | 男性 千葉県柏市 |
| おおい | がわ | ゆき | お | さん | |
| ・大井川 | 幸 | 雄 | さん | 男性 千葉県柏市 | |
| かん | け | けい | いち | さん | |
| ・菅 | 家 | 啓 | 一 | さん | 男性 千葉県市原市 |
| ほり | | とも | のり | さん | |
| ・堀 | | 友 | 則 | さん | 男性 千葉県柏市 |



▲委嘱状を受け取る新広報員

田子倉駅の存続などを要望

JR東日本仙台支社に要望活動

目黒町長は、10月10日にJR東日本仙台支社（仙台市）を訪れ、只見線の早期運転再開に関する要望書を里見雅行取締役仙台支社長に手渡しました。

要望書では、只見線が観光や帰省、通学と多くの役割を担っていることを伝え、町民の生活を支える田子倉駅の存続と、新潟・福

島豪雨の被害でストップしている只見駅と会津川口駅間の早期復旧を強く求めています。

目黒町長は要望すると同時に「町としても観光に力を入れていく。只見線の利便向上にも努めていくので、必ず存続してほしい」と心境を言葉にしました。



▲要望書を手渡す目黒町長(左)

東日本大震災の避難実例をもとに... 榎戸地区防災教室



▲AEDの使い方を学ぶ参加者

秋晴れの9月30日に榎戸集会所で「榎戸地区おたのしみ会・防災教室」が開かれました。

今年度2度目の開催で、今回は「防災意識の向上」をテーマに、南会津広域消防署只見出張所から講師を招き、話を聞きました。講義では東日本大震災の避難実例をもとに、災害時は記憶や経験に左右されず最善を考へて早めに行動するようという話があり、参加者は改めて災害時の対応

について学びました。

その後、人命救助に欠かせないAED（自動体外式除細動器）の使用方法について説明を聞きながら体験しました。併せて炊き出し訓練なども行われ、おにぎりや豚汁を作り、参加者で試食しました。

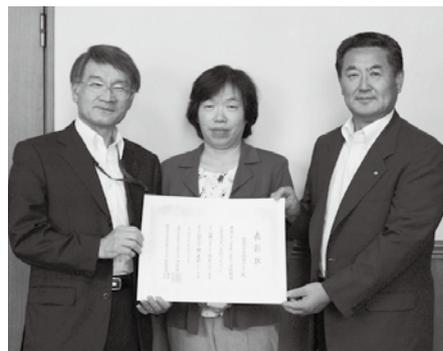
この教室を計画された横山圭子さん（榎戸）は「来年も予定していますので、また元氣な顔で集まりましょう」と声をかけていました。

このような活動は他の集落でも行われており、全町的に防災対策や被害回避に対する意識の高揚が図られてきているものと思います。皆さん、日頃からの災害に対する備えをお願いします。

只見町学校給食センターが表彰

公益財団法人福島県学校給食会および福島県学校給食研究会が行う表彰事業で、只見町学校給食センターが表彰されました。

同センターが取り組んでいる手づくり給食の実施や地産地消の推進、食に関する授業・個別相談指導の充実などを重点目標にした「食べる力・感謝の心・郷土を愛する心」を育む日々の食育活動が評価され、また、昨年度の第6回全国学校給食甲子園では伝統野菜を使った行事メニューが入賞したことなどが実績としてあげられ、総合的に学



▲表彰状を手にする横田みえ子栄養教諭(中央)

国民健康保険関係功績者 厚生労働大臣表彰

厚生労働省が行う平成24年度国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰で、歯科医師の赤塚公寿さん（只見）が表彰されました。

赤塚さんは国民健康保険運営協議会の委員として国民健康保険事業に23年間従事され、町の歯科保健事業の中心的役割を担われました。その間、積極的に助言や指導をされ、国民健康保険事業の発展に多大な貢献をされました。その模範的な活動と功績が認められ、このたびの受賞となりました。赤塚さんは現

在も同協議会の委員としてご尽力いただいています。表彰式は10月11日に厚生労働省中央合同庁舎第5号館（東京都）で行われました。



▲表彰された赤塚公寿さん



奥 奥会津ロックフェスティバル2012 会津只見の大自然に歓声が響いた

只見川電源流域振興協議会が主催する「奥会津ロックフェスティバル2012」が9月29日に季の郷湯ら里で開かれ、約500人が来場、盛り上がりを見せました。出演されたアーティストの個性的な楽曲が披露されるたびに会場は大きな拍手と歓声につつまれました。最後に出演した「おひつじ座流星群」の皆さんは「みんなで励まし合い、支え合い、奥会津を、東北を、日本を元気にしよう！」とメッセージを送りました。来年は9月1日に行われる予定です。



▲アーティストと来場者がひとつになった「奥ROCK」

只 トリムウォーク&トリムラン 見の大自然と紅葉を眺めウォーキング

只見町商工会が主催する「自然首都・只見」トリムウォーク&トリムランが青少年旅行村いこいの森をスタートとゴールに、只見川河畔や只見湖周辺をコースとして行われました。競技種目は3.5km、5km、10kmの3コースで競われ、参加者は自分の申告した時間に近いタイムでゴールできるよう、マイペースで完走・完歩していました。また、ゲストに「森末慎二さん」や「風間深志さん」が招かれ競技に参加、紅葉を眺めながら笑顔で歩いていました。



▲只見の秋を感じながら笑顔で歩く森末さんと参加者

郷 奥会津只見うまいもんまつり 土料理やご当地グルメに舌鼓

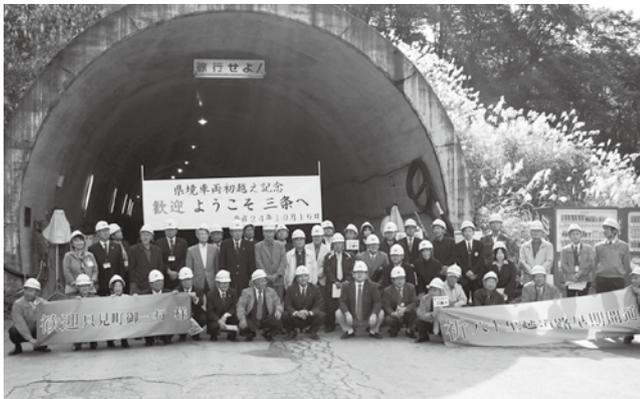


▲晴天のもとグルメと紅葉を満喫した来場者

さわやかな秋空が広がった10月13日から14日の二日間、青少年旅行村いこいの森で「奥会津只見うまいもんまつり」が行われ、町内外から大勢の方々が詰めかけ、郷土料理やご当地グルメを味わいました。只見町からは、味付マトンケバブをはじめ、新そばやそばやきもち、イワナ料理など郷土料理が出店、さらに県内各地のご当地グルメも集合、訪れた方は、思い思いに店をまわり、有名グルメを満喫していました。

車 八十里越え視察見学会 両でのR289号八十里越え県境初越え祝う

只見町商工会が主催する「八十里越え視察見学会」が10月16日から17日の二日間行われました。参加者は、福島県側が玉井章南会津地方振興局長はじめ40名、新潟県側が國定勇人三条市長はじめ36名で、福島県側の参加者はマイクロバスで国道289号県境に移動、7号橋梁や9号トンネルの工事現場を視察し、9号トンネルを通過、バスでの県境初越えを実行しました。新潟県側の8号トンネル付近で國定三条市長らと合流し歓迎が行われました。



▲八十里越え道路の早期開通を願った参加者

ピバ! ムジカと「よろこびの歌」を歌おう

教育委員会では、福島県ファミリーシアター音楽公演会を10月9日に朝日小学校体育館で開き、町内の小学生や保育所の子どもたち、先生、保護者の方々が、音楽グループ「ピバ! ムジカ」の皆さんの歌声やヴァイオリン、ピアノの演奏を楽しみました。披露された歌は「千の風になって」や「ふるさとの四季メドレー」など親しみのある楽曲が多く、「よろこびの歌」は全員合唱で歌いました。最後に「歌を歌うと勇気が出ます。みんなと歌ってください」と話されました。



▲華やかな歌声と楽器演奏を披露するピバ! ムジカの皆さん

こ しあわせ金婚夫婦表彰式 れからも末長くお幸せに…



▲金婚を迎えられたご夫婦の皆さん

只見町老人クラブ連合会などが主催する「しあわせ金婚夫婦表彰式」が10月17日に朝日地区センターで開かれ、金婚を迎えられた町内のご夫婦37組のうち32組が出席されました。角田定平町老人クラブ連合会長のあいさつに続き、只見・朝日・明和の各地区代表のご夫婦に、角田連合会長から表彰状や記念品が贈られました。受賞者代表の飯塚恒夫さん、孝子さんご夫婦が「皆様のおかげです。長生きし町のために尽くします」と謝辞を述べました。

第 20回 戊辰役東軍殉難者慰霊祭 20回の慰霊祭が只見で行われる



▲長岡市河井継之助記念館館長「稲川明雄氏」の講演

第20回目の戊辰役東軍殉難者慰霊祭が10月13日に医王寺（塩沢）で執り行われ、町内外から約90名が出席しました。慰霊祭では妙円寺（長岡市）の「内山慶法師」が読経されたあと、長岡藩家老河井継之助のひ孫「根岸千代子氏（アメリカ在住）」が祭文を奉読、続いて目黒町長はじめ関係者が焼香、最後に箱館新撰組関川大二郎のひ孫「郡義武氏」が吟詠され、殉難者を弔いました。この日は、河井継之助記念館で講演会も行われ大勢参加しました。



Anna先生のLife in JAPAN Vol.22

■ Anna・George
1987年生まれ。英国ノーフォーク出身。
2010年8月から只見町英語指導助手。
小学校と中学校で語学の指導を行います。

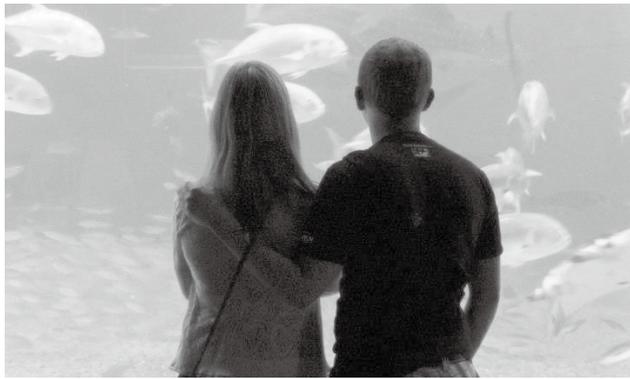
しみでもあり、悲しいときでもあります。生徒たちの活躍や発表を楽しみにしています。今年の文化祭もとても楽しいものになるよう期待しています。

そして、今月はもう一つ大きなニュースがあります。かねてから交際中だったJon(ジョン)と10月に沖縄で婚約しました。私はとても驚き、幸せを感じました。来年、私たちは一緒にアメリカに移住する予定です。日本を離れるのはとても寂しいのですが、来年から始まるアメリカでの新たな生活にワクワクしています。

(訳・只見中・平野)

只見の気候はあつという間に寒くなつてしまいました。寒さのあまり、今シーズンもすでにこたつを使い始めました。そんな中、晴れた日の紅葉は私を楽しませてくれます。今年も紅葉を見に五色沼を訪れようと思います。最近のイギリスの新聞に五色沼周辺の写真が載っていました。それは秋の絶景ポイントとして世界の中から選ばれたものでした。私自身、その記事を見てとてもうれしくなりました。

10月には只見中学校文化祭、「紅葉祭」も行われます。私にとって3回目を迎え、今回で最後になるこの文化祭はとても楽



広報ただみ診療所

朝日診療所

医師 若山 隆

『インフルエンザについて』

毎日に寒気加わる時節となりました。皆様お元気でしょうか。

これからの季節はインフルエンザが流行してきます。今回は医療機関におけるインフルエンザの予防、診断、治療についてお話しします。

インフルエンザにかからないことがいちばんです。インフルエンザのワクチンは研究により、報告にばらつきはありますが、インフルエンザを50〜80%程度予防してくれます。生後6カ月以上のすべての人に勧められます。65歳以上の方、慢性の肺の病気を持っている方、糖尿病の方などは特に大切です。65歳以上は25000円、18歳から64歳の方は35000円で受けられます。インフルエンザワクチンをご希望されている方でまだ申し込んでいない場合は、保健福祉センターあさひヶ丘(電話・84-7005)に早めに相談されると良いでしょう。その他に、手洗いとマスク着用も予防効果があります。

発熱、悪寒、咳・鼻水、頭・のど・関節の痛みなどがインフルエンザの症状です。医療機関を受診された場合、インフルエンザを診断する方法は2つあります。①検査でひっかかる、②医師の判断、の2つです。①の鼻腔に綿棒を入れて行う検査は有用ですが、「ウソ陰性」という問題があります。「ウソ陰性」

とはインフルエンザでも、検査でひっかからないことです。インフルエンザにかかっていても、鼻水に十分にインフルエンザがいないかかったり、また発症後でもない場合も検査でひっかからないおそれがあります。このため、②医師の判断で診断することがあります。例えば、一緒に住んでいる家族がインフルエンザと診断されていて、本人に発熱、悪寒、咳、鼻水、頭・のど・関節の痛みなどの症状があれば、かなりインフルエンザの可能性が高いです。検査して陰性だったとしても、「ウソ陰性」かもしれないので安心できません。

インフルエンザの治療ですが、大部分の人は自然に治るので水分をとってじっくり休むだけで良いです。解熱鎮痛薬などを使うとつらい症状が一時的に和らげられます。タミフルなどの抗インフルエンザ薬は症状出現から48時間以内に使用すれば、0・5〜1日早く症状が治まります。インフルエンザ脳症の予防効果は認められていません。副作用として全ての抗インフルエンザ薬に異常行動の注意があります。インフルエンザの症状として異常行動も出現するため、因果関係ははっきりしません。その他、アレルギー、下痢・腹痛などの副作用がある場合があります。他の治療法として、麻黄湯という漢方薬も症状が早く改善するとされます。インフルエンザの正しい知識をもって冬を乗り切りましょう!

共有林はムラの財産／只見町の共有林に学ぶ③

ローカルかつグローバルな財産としてのブナ天然林

私たちは現在、只見町の複数の集落で行われている共有林の管理について調査を行っています。その調査のなかで、布沢の恵みの森を歩く機会がありました。

私は森林や生態系の専門家ではありませんが、只見町の有するブナ天然林の雄大さや魅力に感嘆を覚えました。こうしたブナ天然林は一般の人々だけではなく、専門家も賞賛するほど世界的に貴重な自然です。しかし、貴重なブナ天然林が今でも只見町に残っており、これからも堪能することができるのは、それを保護するためのルールが形成されたことが大きな要因であると思います。

前号で、只見町の各集落でみごとにコモンズ（共有林）の自発的な管理が行われていること、さらに近年では、外部からの入山者に対していかに対応す

るかという学問的に非常に興味深い新たな問題が加わっているということを述べました。現在のブナ林に関するルールの形成は、只見町の人々と外部の人々との相互の関わり合いが劇的な形で表れた特殊な一例とみることもできると思います。

いままで只見町におけるブナ林の利用と保護をめぐる、多くの人々がかかわってきたブナを伐採して山ナメコを栽培してきた人々、昭和44年の大水害前後からブナ林の伐採中止を訴えてきた只見町の人たち、そして平成10年代に入ってから日本野鳥の会などの自然保護団体の運動が挙げられます。これらは、ブナ林がもつ多面的な役割（機能）に対応しています。薪炭材としてのブナ、ナメコを育むブナ、保水・治水機能をもつブナ、世界的に貴重な天然林としてのブナ、生物多様性に富むブナ……。

このなかで、特筆すべきことは、天然林としてのブナと生物多様性に富むブナです。河野昭

一京都大学名誉教授による総合調査によってブナ天然林の学術的価値が証明されたり、イヌワシやクロホオヒゲコウモリなどの絶滅危惧種が確認されたことにより、只見町のブナ林が学術的にも生態学的にも価値の高いものとして認識されるようになりました。そのことにより、ブナ林は「共有の財産」としてだけでなく「公共の財産」としての性格も帯びるようになりました。

こうした外部の人々の活動は、けっしてグローバルな価値を一方的に地元の人々に押し付けるという形にはなりません。昔から自然を利用してきた人々と自然保護をうまく調和させる考え方のことを「生活環境主義」といいますが、只見町の場合、これに近い形に落ち着きました。奥会津森林生態系保護地域のゾーニングに際して、保存地域（コアエリア）だけでなく非常に広い保全利用地区（バッファゾーン）を設けたことが、そのことを表している

といえます。

一方、自然環境を守るために人がまったく立ち入れないようにして保護するほうがよいという考え方のことを「自然環境主義」といいますが、こうした例として白神山が挙げられます。ここでは、保存地区がほとんどを占め、世界的な価値あるブナ林を保護するために、地元の人々による山林利用ができなくなりました。

只見町ではそうではなく、グローバルな価値観とローカルな価値観の一致点としてルールが形成されたことに非常に大きな意味があると思います。只見町の人々と外部の人々との相互のやり取りの中で、なぜこのようなルールが形成されるようになったのか、という問題はこのような意味において「コモンズ」管理の特殊な一例としてたいへん意義深いものと考えられます。



共有の財産から公共の財産に変ぼうしつある只見のブナ林



町民文芸



只見短歌会

九月詠草

大塚栄一 指導

小倉キミ子

夕立に一葉一葉と打たれたるさるとりいばら波をうちをり

古川 英子

亡き母が世話せし生家の鶏舎より産卵の声聞こえ涙す

関谷登美子

薬品に張りつきし鼠逃れむと動きてゐるに視線をそらす

渡部ゆき子

枝豆を取り来て挽げば花の頃雨なき猛暑に秕の多き

五十嵐夏美

三十五度越すわが庭に落水の音を響かす娘婿はも

目黒 富子

膝を病む友草取ると地に座り土が暑しと顔を歪める

馬場 八智

三か月も炎天続き鶏頭の花はひと際くれなる深し

渡部ヨリ子

登校の児童の鞆に熊除けの鈴の音響くを居間にゐて聞く

新国 洋子

おほかたは娘にゆだね弛き身をベッドに過ごすひと日の長し

(出 詠 順)

只見俳句会

十月例会

目黒十一 指導

リウコ

菊の花咲くまで庭はひと休み

一夜明け漆紅葉の背戸の山

笑 羊

朝霧のゆっくり上り鬼ヶ面

峠路や邯鄲の声覗かれて

都

秋日の家路へ急ぐ駒止道

仏壇の友の遺影や薫る菊

一 穂

村役の蹠るゝ縄や秋祭

献穀米刈る子供らへ秋茜

敦 子

萩の穂の風にゆれいる六十里越

邯鄲や線路を越える茂みにも

礼

秋天や動きを見せぬ田子倉湖

秋気澄む高みに祀る村社

一 灯

秋祭人に肩借し鳥居まで

落石の音からからと山の秋

又壺歩

拍手やとどけ出雲へ神の留守

ダム跡の砂乾きいる暮れの秋

恒 夫

秋夕焼街道沿えの軒底く

百姓の百の一つや落穂捨う

邦 男

薄紅葉峠に向う救急車

只見ダム真下におきて薄紅葉

吉 児

湖守る田子倉神社ちちろ鳴く

行合の空や新秋只見富士

隆 堂

会釈さる毛糸帽子に憶いなし

打ち明けてわだかまり解け天高し

邦 夫

九十八才吟行楽し秋うらら

あでやかに山粧いし水鏡

康 女

秋麗たしかに老いてゆく身かな

紅葉山茅葺屋根のそば処

今月のお知らせ

電話番号

総務企画課	
総務班	☎ 82-5050
	☎ 82-5210
企画班	☎ 82-5220
町民生活課	
税務班	☎ 82-5110
町民班	☎ 82-5100
保健福祉課	
保健班	☎ 84-7005
福祉班	☎ 84-7010
産業振興課	
農林班	☎ 82-5230
交流推進班	☎ 82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎ 82-5270
生活環境班	☎ 82-5280
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所	☎ 84-2221
(歯科)	☎ 84-2612
訪問看護ステーション	☎ 84-2130
こぶし苑	☎ 84-2101
保健福祉センター	☎ 84-7005
只見地区センター	☎ 82-2141
朝日地区センター	☎ 84-2111
明和地区センター	☎ 86-2111

税 今月の納期

- 11月26日までに納めましょう
- 町県民税(3期)
- 国民健康保険税(5期)
- 農集排使用料(11月分)
- 介護保険料(5期)
- 後期高齢者医療保険料(4期)

只見町長選挙の 期日前投票制度

投票日に投票所に行けない用事のある場合は、期日前投票の方法により投票することができます。例えば、自営業の方、冠婚葬祭、買い物などの私用でも可能です。次の投票所で期日前投票ができます。入場券をお持ちになつて、お近くの期日前投票所で投票してください。

● 只見町役場期日前投票所

▽場所 和室(1階)

▽期間 11月21日(水)～

11月24日(土)

▽時間 午前8時半～午後8時

● 朝日地区センター 期日前投票所

▽場所 談話室(1階)

▽期間 11月21日(水)～

11月24日(土)

▽時間 午前8時半～午後5時

● 明和地区センター 期日前投票所

▽投票日(11月25日)に投票所

▽場所 ロビー(1階)

▽期間 11月21日(水)～

11月24日(土)

▽時間 午前8時半～午後5時

※入場券を持参してください。

▼ 問い合わせ

選挙管理委員会

☎ 0241-82-5130

只見町長選挙の 不在者投票制度

11月21日から24日までの期日前投票期間及び11月25日の投票日に町外に外出、滞在等している方であつて、次の不在者投票ができる要件のすべてに当てはまる方は、只見町長選挙を滞在先の市町村で投票する不在者投票ができます。

● 不在者投票ができる要件

▽只見町の選挙人名簿に登録されている方

▽投票日(11月25日)に投票所

に行けない方

▽期日前投票の期間(11月21日～24日)に期日前投票所に行けない方

● 不在者投票の手続き

① 投票用紙を請求する

あらかじめ、不在者投票請求書(只見町選挙管理委員会(只見町役場内)にあります)に必要事項を記入し、只見町選挙管理委員会に郵送(メールやファックスでは、できません)してください。

② 投票用紙を受け取る

只見町選挙管理委員会より投票用紙等が送付されますので、受け取ってください。

※不在者投票証明書の入った封筒は、絶対に開封しないでください。

※自宅等で投票用紙に記載しないでください。

③ 滞在先の選挙管理委員会にて投票する

「②」で受け取った投票用紙等を滞在先の選挙管理委員会に

持参して投票してください。

※記載した投票用紙を只見町選挙管理委員会に送付しなければならぬため、余裕をもって早めの投票をお願いします。

指定病院等に入院している方は 不在者投票ができます

病気等で不在者投票のできる指定病院等に入院されている方は、その病院で不在者投票ができます。病院長等に申し出ることで、本人に代わって投票用紙等の交付請求の手続きを行います。

不在者投票のできる指定病院等であるかは、その施設にご確認ください。

※入院のつき添いの方は、指定病院等で不在者投票をすることができません。期日前投票期間又は投票日に只見町で投票することができない場合は、只見町選挙管理委員会に投票用紙等を請求することに

より、滞在先の選挙管理委員会に投票用紙等を請求することに

より、滞在先の選挙管理委員会に投票用紙等を請求することに

郵便による不在者投票 (在宅投票) ができます

次の方で郵便による不在者投票を希望される場合は、事前に申請が必要となりますので、只見町選挙管理委員会までご連絡ください。

● 該当する方

身体障害者手帳に、両下肢等の障害1級または2級、心臓等の内部機能障害の1級または3級、免疫障害の1級から3級、介護保険被保険者証の要介護状態区分が要介護5と記載されている方

● 代理記載に該当する方

右記に該当した上で身体障害者手帳に、上肢もしくは視覚障害1級と記載されている方

▼ 問い合わせ

選挙管理委員会

☎ 0241-82-5130

* ユネスコエコパーク地域シンポジウムを開催します *

皆様のご来場をお待ちしております。

今回開催するシンポジウムでは、只見ユネスコエコパーク（仮称）の登録と、その推進を図るためには、事業に対する町民の皆様の理解と主体的な参加が必要となることから、学識経験者や先進地の方々よりユネスコエコパークについて学び、議論することを目的に行います。

と き 平成24年11月18日（日） 13:00～17:20
 ところ 季の郷湯ら里コンベンションホール「ゆきつばき」【入場料：無料】
 住所：只見町大字長浜字上平50 電話：0241-84-2888
 テーマ 「ユネスコエコパークと只見町の未来」

お問い合わせ

総務企画課 企画班

電話 0241-82-5220
 F A X 0241-82-2117
 メール kikaku@town.tadami.lg.jp

* プログラム *

第1部 世界から見た只見ユネスコエコパーク

- (1) 櫻村利道 福島大学名誉教授
「只見の自然の特徴と価値」
- (2) 崎尾 均 新潟大学教授
「佐渡フィールドセンターにおけるエコツーリズム」
- (3) 吉丸博志 森林総合研究所多摩森林科学園園長
「遺伝的多様性の保全を図るBRの役割」
- (4) 酒井暁子 横浜国立大学准教授
「BR国際ネットワーク会議報告」
- (5) 朱宮文晴 日本自然保護協会保全研究部長
「緩BR設定までの経過」

第2部 記念講演

河野耕三 宮崎県綾町役場企画財政課照葉樹林文化推進専門監
 「ユネスコエコパークを通じた地域活性化—綾町の取り組み—」

第3部 パネルディスカッション

「ユネスコエコパークで只見の未来を描く」

- (1) 問題提起 「ユネスコエコパークで只見町は何を目指すのか？」
渡部勇夫 只見町総務企画課長
- (2) パネラー
司 会 鈴木和次郎（只見町プラセンター館長）
報告者5人 櫻村氏、崎尾氏、吉丸氏、酒井氏、朱宮氏
講演者 河野氏、町民3名

ユネスコエコパーク地域シンポジウム
ユネスコエコパークが描く只見の未来

2012年11月18日（日） 会場 季の郷湯ら里

シンポジウム
11月18日（日）13:00～17:20

第1部 世界から見た只見ユネスコエコパーク

櫻村利道氏 福島大学名誉教授
「只見の自然の特徴と価値」

崎尾均氏 新潟大学教授
「佐渡フィールドセンターにおけるエコツーリズム」

吉丸博志氏 森林総合研究所多摩森林科学園園長
「遺伝的多様性の保全を図るBRの役割」

酒井暁子氏 横浜国立大学准教授
「BR国際ネットワーク会議報告」

朱宮文晴氏 日本自然保護協会保全研究部長
「ユネスコエコパーク設定までの経過」

第2部 記念講演
河野耕三氏
宮崎県綾町役場企画財政課照葉樹林文化推進専門監
「ユネスコエコパークを通じた地域活性化—綾町の取り組み—」

アトラクション「小林神楽」 小林早乙女保存会

第3部 パネルディスカッション
ユネスコエコパークで只見の未来を描く
問題提起「ユネスコエコパークで只見町は何を目指すのか？」 渡部勇夫 只見町総務企画課長
司会：鈴木和次郎（只見町プラセンター館長）
報告者5人：櫻村氏、崎尾氏、吉丸氏、酒井氏、朱宮氏
講演者3名：河野氏、町民3名

主催 福島県只見町
後援 日本ユネスコ国内委員会、日本MA計画委員会、環境省東北地方環境事務所、林野庁関東森林管理局津森森林管理事務所、会津支庁、福島県、楡枝町、日本自然保護協会、東邦銀行
お問い合わせ 只見町総務企画課企画班 TEL.0241-82-5220
〒968-0490 福島県南会津郡只見町大字只見字南畑1039番地

町長室日誌

〈 10 月 分 〉

- 1日 JR只見線（只見～大白河）再開通記念イベント、環境衛生組合辞令交付式
- 2日 八十里越道路暫定の活用検討懇談会
- 3日 役場庁舎建設審査委員委嘱状交付式
- 4日 文化祭実行委員会
- 5日 電源交付金確保に係る要望活動
- 6日 全日本女子バレー真鍋監督バレー教室
- 7日 只見町駅伝競走大会、定住等促進住宅上棟式
- 10日 JR東日本仙台社長要望活動、庁舎建設に係る住民説明会（只見地区）
- 11日 只見観光まちづくり協会理事会、庁舎建設に係る住民説明会（朝日地区）
- 12日 県道小林・館ノ川線改良促進期成同盟会県要望活動
- 13日 戊辰役東軍殉難者慰霊祭・記念講演会・懇親会
- 14日 2012自然首都・只見トリムウォーク&トリムラン
- 15日 庁舎建設に係る住民説明会（明和地区）
- 17日 金婚夫婦表彰式
- 20日 只見町広報員（ふるさと大使）活動報告・委嘱状交付式
- 21日 只見町秋季消防検閲式
- 22日 電源流域振興協議会抽選会
- 24日 ユネスコエコパーク視察研修・宮崎県綾町（～26日）
- 29日 新嘗祭献穀献納式、県知事要望活動
- 30日 町職員研修
- 31日 統計調査員感謝状授賞式（目黒宇一氏）、只見町交通安全対策協議会、町職員研修、防災講演会



只見町は、日本の自然の中心地

自然首都・只見

町民の消息

(10月1日～10月31日届出分・敬称略)

■お誕生おめでとうございます

大槻 弘 忠 (男/文彦・薫) 只見
 五十嵐 慶 伍 (男/剛・紗輝) 小林
 渡部 快 人 (男/秀人・弘美) 小川

■ご結婚おめでとうございます

南会津町 湯田 洋二♡福井 小柴 美希子

■おくやみ申し上げます

磯部 敬	76歳	只見
新國 本子	90歳	只見
星 ウシイ	91歳	長浜
小林 テル子	93歳	布沢
梁取 美世子	71歳	小林

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成24年10月1日現在

人口	4, 785 (+1)
男	2, 300 (±0)
女	2, 485 (+1)
世帯数	1, 843 (+2)
高齢化率	41.3%

※高齢化率は、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 6 転出 1 出生 0 死亡 4

▽実りの秋・食欲の秋・スポーツの秋・文化の秋……。皆さんはどんな只見の秋を満喫されていますか。私は、おいしいコシヒカリの新米とためこ汁を食べると豊かな只見の秋を感じます。そして、朝晩の冷え込みと見事な紅葉も只見の秋を象徴する風物詩。食べて、見て楽しむ只見の秋も駆け足で過ぎ去り、雪の便りが気になるのもこの時期です。冬への備えを万全に、暖かく快適に過ごしましょう。個人的には雪景色が大好きなので、今年の冬もカメラを常に持ち歩きたいと思っています。絶景スポットをご存じの方、ご連絡をお待ちしています。

あとながき

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう



まちづくり推進員
渡部 敦子

明和地区センター
図書室 ☎ 86-2111

おすすめ新着図書

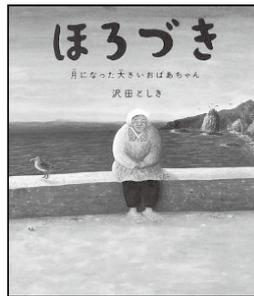
★サクリファイス



近藤史恵/著 (新潮社)

本書を開くまで、自転車(サイクル)ロードレースというスポーツについてほとんど何も知りませんでした。読み進めるうちに俄然魅力的に感じるようになり、認識が一新されました。読後まず感じたのはタイトルの秀逸さ。でも、これについてはネタバレになるので内緒です。後半から一気にたたみ掛けるような驚きの連続、最後の1行に胸が熱くなります。『エデン』『サヴァイヴ』と続編も揃えました。

★ほろづき 月になった大きいおばあちゃん



沢田としき/著 (岩崎書店)

大きいおばあちゃんの家で過ごす夏休み。じゃがいもほり、昔話、海水浴。「まだ、こいへ(また、おいで)」と言っていたおばあちゃんに次に会えたのは、おばあちゃんのお葬式で…。男の子の目を通して静かに語られる、温かく大事な思い出と受け継がれる命のお話。

★大接近! 妖怪図鑑



軽部武宏/著 (あかね書房)

お馴染みの妖怪もそうでない妖怪も、合わせて21種類、生態とその逸話について解説されています。何といてもイラストが大迫力でいて美しく、大人でも見応えあり。お子さんとぜひ一緒に読んで、想像力を働かせてみてはいかが?

★東野圭吾新刊、ユーモラスな海外の絵本などを購入しました。購入図書の全タイトルは明和地区センターブログ<http://meitiku.blog.fc2.com/>で紹介していますのでご覧ください。

★長期に渡って返却されない図書が目立ちます。多くの方に気持ちよくご利用いただくために、ルールを守った利用をお願いいたします。

ニホンザル

(学名 : *Macaca fuscata*)
[オナガザル科 マカク属]



ニホンザルは日本では広く存在を知られ、南は鹿児島県の屋久島、北は青森県の下北半島まで分布し、幅広い環境、食性に対して適応していることがわかります。

体長は47~61センチ、体重は7~15キロですが、東北地方や中部地方山岳部の個体群はさらに大型です。

ニホンザルの食べ物は季節によって変化し、只見町のニホンザルは春にブナの新緑を食べ、夏には昆虫や夏野菜を食し、秋には枝豆やかぼちゃなど畑になる作物を食べ、冬には木の皮をかじって飢えをしのぎます。

海辺の地域では貝や海藻、山中では葉、芽、草、花、種子、キノコ、昆虫など。その食性は人間とそっくりなのです。

ブナセンター 講座

○「つる植物の生態」

講師 : 鈴木 和次郎 だだみ・ブナと川のミュージアム館長
日時 : 11月11日(日) 午後1時30分~午後3時

○「ツル細工の種類と伝統」

講師 : 谷川 栄子さん (日本女子大・櫻楓家庭工芸(研))
日時 : 12月1日(土) 午後1時30分~午後3時

○体験教室「カゴ編み教室」

講師 : 鈴木 和次郎 だだみ・ブナと川のミュージアム館長
日時 : 12月2日(日) 午前10時~正午

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

— 第6回市町村対抗軟式野球大会 只見町チーム 3回戦惜敗 —

大会初勝利から勢いに乗り2回戦も突破し、3回戦へ進んだ「只見町チーム」の相手は昨年の本大会覇者「福島市」でした。

息詰まる投手戦の末、結果は「0対3」で惜敗。悔しさが残る結果でしたが、同時に過去の試合で完敗した「福島市」に対して、ここまで善戦できたことは「只見町チーム」が大きく成長したということでもあり、すばらしいことです。

町内の有志24名の選手に、町外から故郷只見町のために駆け付けた3名のふるさと選手を加えた27名の「只見町チーム」が大活躍した大会でした。次の大会も今年の経験を糧に、町民の皆さんに感動と元気を与えてくれることでしょうか。参加された選手の皆さん本当にお疲れさまでした。



▲目黒町長に大会結果を報告する吉津健監督 (左から2人目)